



# 図書館だより 11月



11月霜月・霜見月・雪待月

NO.7

2013/11/01

ノートルダム学院小学校図書館

## ★ 一木枯し、浦西、空っ風



暦の上で立冬（7日）のころに吹く強い季節風を「木枯し」と言います。木の葉を落として枯木にしてしまふところから、このように言うのです。天気予報で「木枯し1号」ということばを耳にするのは11月初めで、最大風速が8メートル以上の風のことで。

この時期の風向きが西または北西の風を、山陰地方では「浦西」と言うそうです。ちなみに、関東地方では、冷たい強風のことを「空っ風」と言います。秋冬の風にもいろいろな呼び名があるのです。寒いのはいやですが、冷たい空気は、心も体もきゅっと引きしめてくれます。

## 一時を忘れて読書に熱中！

### 読書週間（～11月9日）

冷たい北風が吹くころ、暖かい日射しを受けて、本を読むのは気持ち良く、とても安らかな気分になります。読書週間は、戦後間もない昭和22年、「読書の力によって平和な文化国家をつくろう」との願いから、第一回「読書週間」が開さいされたのが始まりです。集中しやすいこの時期にたくさん本を読んで、お気に入りの一冊を見つけましょう。



## 新しく入った本紹介

- 新美南吉童話選集 ポプラ社（今年は、南吉の生誕100年記念の年です）
- 笑顔の架け橋 佐野有美 佼成出版
- 真夜中のパン屋さん 大沼紀子 ポプラ社
- いのちのギフト 日野原重明 小学館
- もしも8歳のこどもが大統領に選ばれたら 加納眞士 ポプラ社
- コメの歴史を変えたコシヒカリ 小泉光久 汐文社
- 尾木ママの女の子相談室 ポプラ社
- ねこじゃら商店 世界一のプレゼント 富安陽子 ポプラ社・・・など

### 読書習慣を身につけるコツ!!

- いつも身の回りに本をおく
- 毎日、読書の時間を作る
- 読書記録をつける（かんたんでよい）
- お友だちと本の情報交換をする

一ためしてみましよう



毎日新聞社が全国学校図書館協議会と合同で行った「第59回学校読書調査」によると、小学生の1ヶ月の読書量は、小学校入学前に家庭で読み聞かせをしてもらったと答えた子ほど、読む冊数が多いことが分かりました。1ヶ月に16冊以上読んでいる子は、「よく読んでもらった」が6割以上で、「全く読んでもらわなかった」子は1割以下だったそうです。ノートルダムのみなさんは、きっと小さいころから家の人に本を読んでもらっていたのだと思います。